

体の菌病周歯
抗

鶏卵で作り効果確認

ファーマフーズと日大

東証マザーズ上場のファーマフーズと日本大学の平沢正知教授らは歯周病の原因菌に働く抗体を

鶏卵で作り、効果を確かめた。口内でさまざまに菌の繁殖を促す菌の増加を抑えた。食品に混ぜるなどの応用を目指す。研究成果は13日から東京で開催される日本栄養・食糧学会で発表する。

歯周病の原因となる菌

は、歯の表面に「バイオフィルム」と呼ばれる菌の繁殖しやすい環境をつくる。

研究チームはこの環境つくりに必要な役割を果たす菌「フソバクテリウムヌクレアタム(Fn)」をニワトリに注射し、産んだ卵の卵黄の中に菌の抗体「IgY」を作った。卵黄を粉末にして錠剤にし、健康な成人に1週間摂取してもらった。8人に試すと4人でFn菌の

比率が半分以下になったという。

試験管実験ではバイオフィルムの形成にかかわるほかの菌でも抑制効果を確か済み。今後、被験者を増やして実験する。

卵黄で歯周病菌減少＝抗体作製、効果を確認－バイオ企業と日大

歯周病の原因となる細菌を減らす抗体を卵黄から作製することに、バイオ企業ファーマフーズ(京都市)と日本大松戸歯学部の研究室の平澤正知教授のグループが初めて成功した。食品から作るため安全で、量産が可能という。13日から東京で開かれる日本栄養・食糧学会で発表する。

歯周病は細菌が歯の周囲の組織に感染し、歯茎が腫れて出血する病気で、悪化すると歯が抜ける。成人の約8割がかかり、細菌の毒素などが糖尿病を悪化させ、心筋梗塞の原因になると指摘されている。

研究グループは、歯周病原因菌のうち主要な2種類を一緒に培養すると、バイオフィルムと呼ばれる特殊な菌の塊ができることに着目。ニワトリにこの塊を注射し、卵黄の中で、原因菌だけに反応してバイオフィルムの形成を抑える抗体を作った。

実験では、この卵黄を粉末化。成人の男女8人に、50ミリグラムの粉末を含む錠剤を1日8粒、1週間飲ませたところ、歯周病原因菌の減少傾向が見られ、うち4人は半減した。(2011/05/12-04:45)



時事通信社

Copyright © 1971 FALCON LTD. All Rights Reserved.
